

会員増強について知る — 全国から集まりセミナー開催

会員増強は、国際ロータリー（R I）にとって最大のテーマであり、多くのロータリアンが参画することによって素晴らしい奉仕活動につながっていきます。

3月19日、東京で「国際ロータリー第1・第2・第3ゾーン 会員増強セミナー ～地区会員増強維持セミナーのために～」が開催されました。R I理事の松宮剛氏、北清治氏の主催、第1・2・3ゾーン地域別会員増強計画プロジェクトリーダーの辰野克彦氏の実行のもと、全国から160人もものガバナー、ガバナーエレクト、本年度・次年度地区会員増強委員長が参加しました。

現在、R Iは全世界を16の地域に分け、それぞれの実情に合った形の会員増強計画を立てていますが、第1・第2・第3ゾーン、すなわち日本全国で一地域となっています。

それぞれの体験談を紹介

このセミナーの目的は次年度の地区会員増強セミナーの開催にあたり、R Iの現状と方向性を伝え、またセミナー開催のヒントやアイデアを提供し、より効果的なセミナーを開催していただくことにあります。内容もその目的の達成に向け、「会員維持」と「会員増強」の双方からの切り口の発表がありました。

都筑文男R I第2ゾーンロータリーコーディネーター補佐の司会で、北R I理事の点鐘、挨拶により開会されました。プログラムは、田中作次直前R I会長の講演「ロータリーの魅力」から始まりました。ロータリーの素晴らしさは会員の一人ひとりが深く認識しているはずですが、田中直前R I会長も、自身の経験からロータリー

のおかげで新しくも輝かしい人生が開かれていったということ、職業人の立場から熱く語りかけました。日本からR I会長が選出されたということ、そしてその経験を踏まえて講演いただいたことにより、R Iがより身近になり、そして深く会員増強への意識づけがなされたと考えます。

次に、杉谷卓紀R I理事エレクトから、「国際ロータリーの会員増強の現状と展望」について説明がありました。R Iでは2016年に130万人の仲間とともに奉仕活動を行える体制をつくろうと、大きな会員増強への志を持って、それを訴えています。現状は厳しい推移ではありますが、それを越えて増強をしていただきたいと、強く語りかけました。

午前の部は、会員維持についての事例紹介を中心に進行しました。ロータリーではここ数年、1年間の入会者数は大きく変化はしておりません。退会者数により、「純増」「減少」の結果となっている傾向が表れています。つまり、会員の会員維持（退会防止）が成されれば、会員は純増するということです。そのため、より魅力的なロータリー活動、ロータリーライフを再確認し共有しようと、辰野氏が提案し、それを受けての紹介がありました。

服部陽子氏（第2750地区前研修リーダー補佐・東京広尾R C）の進行で、5人が発表しました。加藤和美氏（第2590地区・横浜西R C会長エレクト）が、「女性のいないクラブに入会したものの、男性会員からいろいろ言われ、何度も辞めようと思いましたが、しかし、自分が女性に声を掛け女性会員を増やそうと心に決め、今は女

性会員が20人ほどになりました。そうすると責任上も辞められなくなりました」と報告しました。

木村平右衛門氏（第2580地区地区副幹事・東京R C）は祖父の代からの会員で、「ロータリーに入ることを誇りに思う」と話しました。西澤宗英氏（第2750地区新世代委員長・東京渋谷R C）は「自分は決してピアノはうまくないが、例会でのピアノ演奏は自分の役目となってきて、例会での席が自然とできてきたので、無理をしても例会には出るようになりました」と、クラブでの居場所をつくることの大切さについて語りました。宮下守夫氏（第2770地区・大宮シティR C会員増強部門委員長）は「数年前に病気が見つかった時に、ロータリアンの紹介で、病院、医師に恵まれました。そして、ロータリアンの仲間に励ましていただいた。今はそれが生きる励みともなっています」という体験、櫻木英一郎氏（第2790地区・千葉R C会長）は、「クラブの運営を見ていて、それはロータリーの基本から外れていると思えることがあり、そのことを会員に話していたら、結局自分が、今度クラブ会長をすることになりました」と話しました。

自身の経験を踏まえた魅力的な話で、出席者の皆さんが笑顔になったり、真摯に聞いたり、それぞれロータリーの素晴らしさを再確認したと思います。

会員増強とクラブ拡大

昼食を取りながらの情報交換を終えて午後の部は、会員増強に焦点を当てた内容となりました。まず、パネルディスカッションです。テーマは、「新たなタイプのクラブはどう拡大できるか？」「会員基盤構成の多様性をどう考えるか？」。会員増強は強いクラブを構築するためですが、地区や全体のことを考えると、クラブ拡大はガバナーと地区会員増強委員長の大きなテーマとなります。また、会員基盤を多様化する、それに合わせてクラブの時間や場所、会費を多様化させて、さまざまな会員を受け入れる土壌をつくるにはどのようにしたらよいか。90分にわたり発表と意見交換がなされました。

ファシリテーターの井上暎夫氏（第3ゾーン・ロータリーコーディネーター）と、桑原茂氏（第1ゾーン・ロータリーコーディネーター）、金杉誠（第2ゾーン・ロータリーコーディネーター）、舟木いさ子（第2750地区ガバナー）の3人のパネリストが、パワーポイントを用い、現在のR Iの方向性、具体的な分析内容などについて詳細な説明とディスカッションとなりました。

また、拡大については、ガバナー年度に、各グループ（第2750地区では8グループ）に拡大して新クラブを

つくりたいという強力なリーダーシップのもと、既に数クラブの創立の目処がついているという、舟木氏の力強い話に注目が集まりました。

辰野氏のセミナーへの2つめの提案です。このセミナー開催に向けて、事前に全国のガバナーにさまざまなアンケートを取っており、その結果を踏まえて、顕著な結果やアイデアが記載されている地区の代表者を指名して、その内容を説明いただきました。

そして、辰野氏の所属する、第2750地区の経験も披露すべく、同地区会員増強委員会委員長の司葉子氏が、地区会員増強セミナーに向けてというテーマで話をしました。

続いてDVDの説明です。今回のセミナーでは、この会員増強に向けての強い思いを、どのような方法で全国のクラブの会員増強委員長に伝えることができるかについて、何回も打ち合わせを重ねました。その結論として、DVDを作成し、それを全国の会員増強セミナーで活用してもらうことになりました。これは、田中直前R I会長、北R I理事をはじめ、6人の10分程度の濃縮されたスピーチを収録したものです。各地区は、それぞれの事情に合った内容をセレクトしてセミナーで再生することができます。

例えば選択して再生する、グループディスカッションの題材とする、DVDを貸与してクラブ例会でも再生するなど、いくつかの観点から活用方法を説明しました。

最後が質疑応答。参加者から活発な意見と質問があり、このテーマへの真剣な取り組みを共有できた時間となりました。最後に、松宮R I理事からお褒めの言葉とともに講評をいただき、閉会点鐘となりました。

全国からお集まりいただき、6時間という長いセミナーとなりましたが、参加した皆さまが真剣に参画した、貴重な時間となりました。このセミナーが、各地区での皆さまの会員増強の一助になることができればうれしく思いますし、また会員増強の成功を心から祈念したいと思います。

第2750地区 地区会員増強副委員長 鈴木 隆志
（役職はすべてセミナー開催当時のものです）

